

平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Bコート	第1試合 9:00~												
<チームA> 県立日川 山梨 1位		64 { <table border="0"> <tr><td>19</td><td>1Q</td><td>21</td></tr> <tr><td>14</td><td>2Q</td><td>23</td></tr> <tr><td>16</td><td>3Q</td><td>17</td></tr> <tr><td>15</td><td>4Q</td><td>12</td></tr> </table> } 73	19	1Q	21	14	2Q	23	16	3Q	17	15	4Q	12	<チームB> 昌平学園 昌平 埼玉 2位	
19	1Q	21														
14	2Q	23														
16	3Q	17														
15	4Q	12														

【Aブロック】

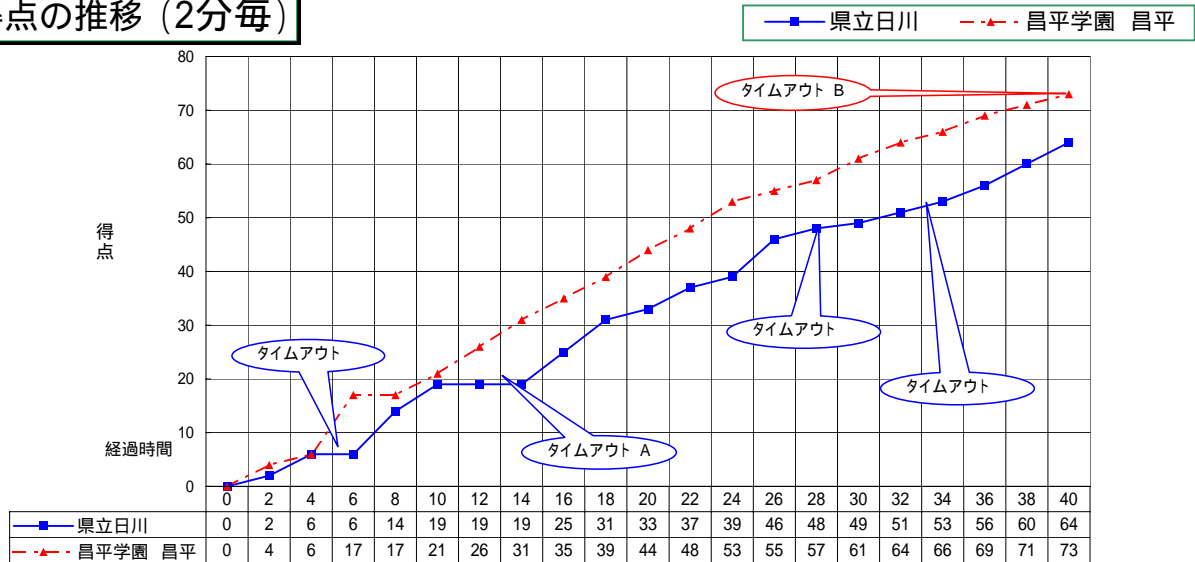
主審： 藤田 伸一(茨城) 副審： 荒井 秀行(茨城)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	古屋 貴弘	14		7		1
	5	渡邊 陽輝	2		1		
	6	飯塚 勇介	4		2		2
	7	清水 恭平					2
	8	一瀬 裕太	16	2	5		
	9	石原 千幹	2			2	
	10	林 秀亮	3	1			
	11	坂本 達哉	3	1			
	12	窪田 大介					2
	13	小井詰 喜希					
	14	逆瀬川 浩志	10		5		2
	15	鍵田 裕行					
	16	名取 秀	5	1	1		3
	17	古屋 卓人	2		1		1
	18	中村 椋耶	3		1	1	
コーチ		古田 厚司					
合計			64	5	23	3	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	馬場 健司	18	1	7	1	2
	5	中居 秀貴	17	3	4		
	6	谷口 直紀					1
	7	牧野 俊平	3	1			1
	8	中川 健太	3		1	1	
	9	松村 拓貴					
	10	未永 辰幸	4		2		1
	11	中村 恒貴					
	12	田中 優二	5		2	1	
	13	西谷 奨斗	6		3		
	14	吉岡 悟	7		3	1	1
	15	大竹 正道	10		5		1
	16	山崎 稜					
	17	柏木 淳					
	18	八木 健吾					
コーチ		畔川 秀雄					
合計			73	5	27	4	

：スターター / ：出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

得点の推移 (2分毎)



戦 評

記入者： 佐藤 純

第1P,両チームともハーフコートマンツーマンでゲームが始まる。序盤は両チームともなかなかリズムが掴めず、残り5分6-8となったところで、日川がタイムアウト。しかし、流れを掴んだのは昌平、中居の速攻・3pシュート、西谷の速攻と速いパス回しからの展開で一気に差を広げる。対する日川はメンバーチェンジを繰り返し、ディフェンスのプレッシャーを強め、リズムを取り戻す。最後に 坂本のプザービーターが決まり、19-21で第1P終了。

第2P、日川はオールコートマンツーマンを仕掛けるが、昌平が冷静なボール運びの前にリズムを掴むことができず、9点差となったところでタイムアウトを取る。残り5分、ようやく 逆瀬川の速攻、古屋の1対1と連続得点で反撃をするものの、昌平も 馬場、牧野、大竹がゴール下で徐々に力を発揮し、33-44昌平リードで前半を折り返す。

第3P、両チームとも足が動き始め、展開が速くなる。昌平は堅実なディフェンスからの速攻、中居の3pシュート、馬場のインサイドプレイでリズムを掴もうとすれば、日川はオールコートマンツーマンが激しさを増し、清水~一瀬の速攻、一瀬の3pシュート、古屋の1対1と互いに譲らず、49-61昌平リードで最終ピリオドへ。

第4P、日川は2-2-1ゾーンプレスから高い位置でのダブルチームが決まり、逆瀬川、一瀬の速攻で9点差まで追い上げる。しかし、昌平もディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、リズムを渡さない。日川は最後まで粘りを見せるが、ゴール下でどうしても点が取れず、結局64-73で昌平が2回戦へ駒を進めた。